

あたらしい絵本 No. 530 2026. 6. 16



『おkaaさんのおkaaさんのひ』 ローナ・バリアン／さく

・ねずみのヘイゼルは、おkaaさんに会いに行きました。だって今日はとってもいい日。でも、おkaaさんはいませんでした。おkaaさんは、おkaaさんのおkaaさん、おばあちゃんに会いに行っていたのです…。(幼0～5歳)



『ポケモンをさがせ!ろくえいゆうとのであい』

姫野 よしかず／絵

・ニャオハとパートナーになったリコは、おばあちゃんからもらったペンダントのなぞを解くため、旅に出ます。キャプテンピカチュウはどこにいる? 見開きいっぱい描かれた絵の中から、出題されたポケモンをさがすゲーム絵本。(幼0～5歳)



『さくらんぼどこにある?』 ハダ ヨシコ／作

・さくらんぼどこにある? くさのうえ? ううん、緑の鳥のせなかのうえ。さくらんぼの赤い色が、鳥の気持ちの色みたい…。ダイナミックで鮮やかなイラストで、「さくらんぼどこにある?」とくり返し展開していく幼児向け絵本。(幼0～5歳)



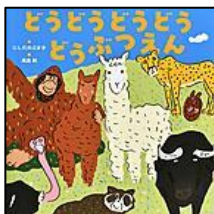
『パンダのおさじとぱんだっちゃん』 柴田 ケイコ／作

・ぱんだっちゃんは、呪文ひとつで持ち主をよい眠りにみちびく不思議なにんぎょう。でも、約束を守らないと大変なことに…! 小さなパンダのおさじが届ける、不思議で楽しいパンダ道具のおはなし。(幼0～5歳)



『おばけのそこちから』 山本 孝／絵

・おばけやしきが、侍たちに囲まれました。閻魔様も鬼たちも守ろうとしましたが、大砲を打たれて散り散りになってしまいました。おばけの子供たちも追い詰められて…。内田麟太郎・山本孝コンビがおくるおばけシリーズ第3弾。(幼3～5歳)



『どうどうどうどうどうぶつえん』 高畠 純／絵

・ぱかぱかぱかぱかぱかぱかアルパカ、すたすたすたすたすたすたすたハムスター、おらおらおらおらおらおらオランウータン、じろじろじろじろじろじろアルマジロ…。楽しい動物園のことばあそび絵本。(幼3～5歳)



『もっとこどもかいぎ』 北村 裕花／作・絵

・今日は、こどもかいぎの日。「お母さんやお父さんにいいたいことがあるときは、どうしたらいいか」について話し合いますが…。真剣に議論する子どもたちを、迫力のあるイラストで描いた絵本。「こどもかいぎ」の続編。(幼3～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『999ひきのきょうだいとカルガモちゃん』 村上 康成／絵

・春の池の周りを散歩していた999ひきのかえるの兄弟。いつのまにか、迷子のカルガモの赤ちゃんがあとをついてきて…。カルガモのお母さんを、無事に見つけることができるのでしょうか？ 999ひきシリーズの第7弾。
(幼3～5歳)



『夜の騎士アウルとはやおきのアーリー』
クリストファー・デニス／作

・小鳥のアーリーは、夜のお城を守るふくろうのアウルに憧れていました。「弟子にしてください」とアウルの家に来て、いっしょに仕事にですが、アーリーは夜が苦手…。「夜をまもる騎士アウル」の続編。
(幼3～5歳)



『そうっとそうっと』 田中 友佳子／作・絵

・こぶたくんは、なかよしのたぬきくにケーキを持っていくことにしました。お皿の上のケーキが倒れないように運ぼうと、ケーキに集中するこぶたくん。ピンチにも気がつかなくて…!? ユーモアあふれる、絵をよむ絵本。
(幼3～5歳)



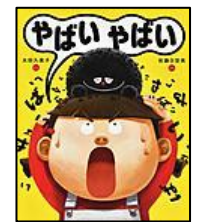
『これがわたし』 ローラ・カーリン／絵

・もみの木、雨、川。キャンプに出かけた少女は、自然と触れ合いながら、自然の中に「わたし」を見つけていき…。詩のような文章と、のびやかなイラストで描いた、すばらしい自分と出会うお話。(幼3～5歳、小初)



『めだまのスポット ふたりでさんぽ』 田中 達也／作

・めだまのスポットは、なかよしの二人組。今日も散歩に出かけます。スポットたちが行く先々で、すぽっと座ると、座ったものが別の何かに変身して!? 身近なものが別のものに見えてくる、〈見立て〉の楽しみを味わえる絵本。
(幼3～5歳、小初)



『やばいやばい』 太田 久美子／さく・え

・ななちゃんの頭の上に現れた、やばいやばいおばけ。「やばい」と言うたび、どんどん大きくなって行って、ななちゃんは家に入れなくなってしまいました。ところが、ななちゃんが「こまった」と言うと、おばけが小さくなって…。(幼3～5歳、小初)



『ぜんぶやりたいまにちゃん』 及川 賢治／絵

・まにちゃんは、毎日ちがうお仕事をしています。月曜日は歌手、火曜日は消防士…。どれもぜんぶやりたいことなのに、みんなに「どれがいちばん大事なの？」と聞かれて困ってしまいます。ある日、まにちゃんはかぜをひいて…。
(幼3～5歳、小初)



『ねこいる!いる!』 たなか ひかる／作

・ねこがいるか、いないか。気をつけて読んでみてね。バナナ、りんご、マカロニ、歯磨き粉。いるはずがないところにも、ねこはいて…。ナンセンスな展開と言葉の繰り返し、子どもたちの笑いのツボを刺激する楽しい絵本第2弾。(幼3～5歳、小初)